

The image features the NETGEAR logo in the top left corner. The background is composed of several overlapping geometric shapes in shades of blue, orange, yellow, and purple. The main text is centered on a large purple shape.

NETGEAR®

M4300を使用した S3300 フル10Gスタックソリューション

ネットギアジャパン

S3300スタック環境でのご要望

- スタック接続によって10Gポートが塞がってしまう
- S3300シリーズにフル10Gスイッチがない
- スタック内をフル10Gにしてボトルネックを解消したい
- フル10G化のためのM4300スタックへのリプレースは費用が高額

NETGEARのソリューション

フル10Gに対応したM4300をS3300でもスタック可能に！

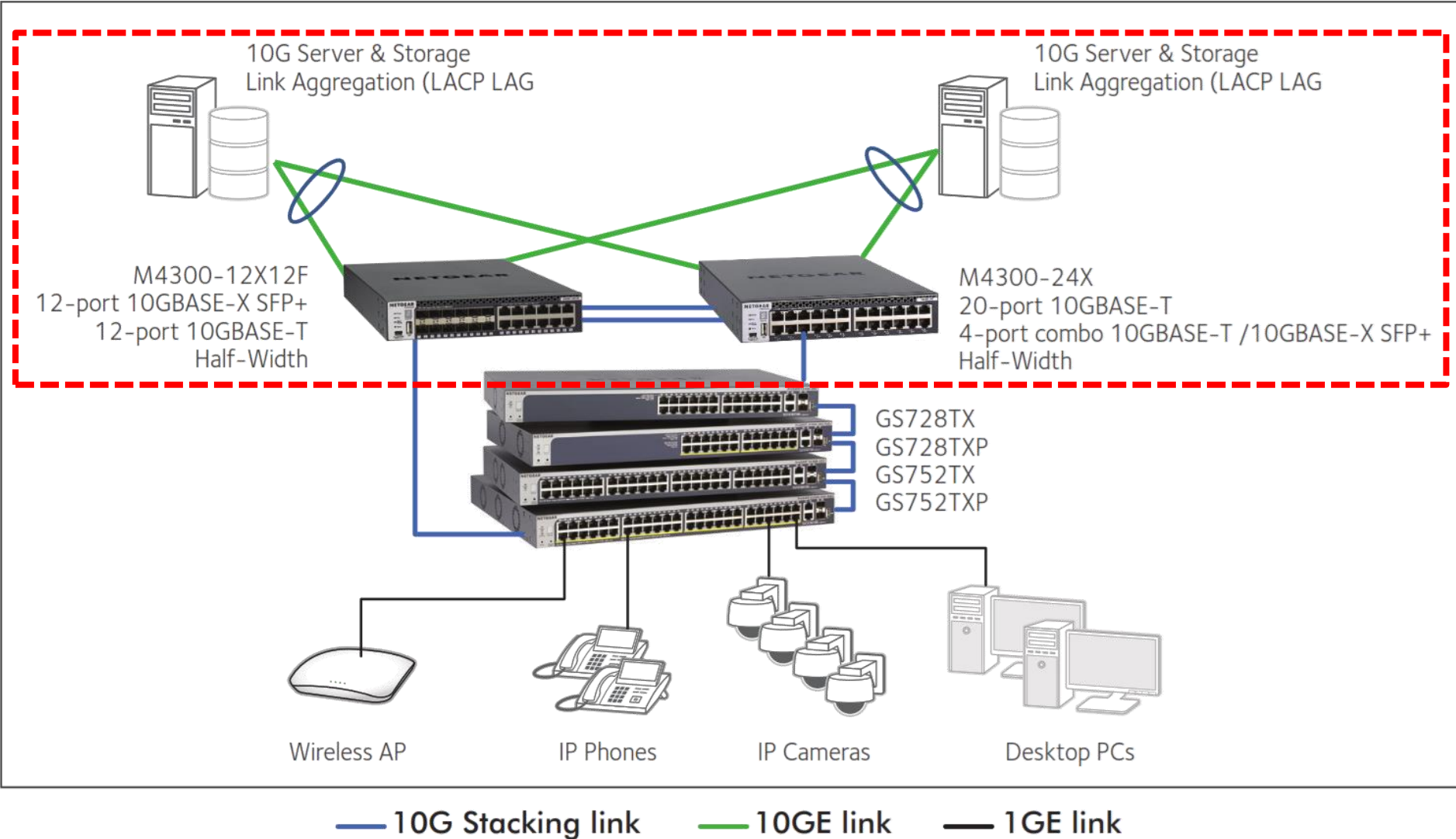
- S3300スタック専用ファームウェア※の導入によりS3300とのスタック接続を実現
- M4300の追加購入のみでS3300スタック環境のフル10Gアップグレードが可能

※次ページ参照

通常ファームウェアとの差異

- M4300-12X12F および M4300-24Xのみ対応
(ハーフサイズフル10Gモデル)
- S3300と同一のL2/L3スイッチ機能(フルL3機能なし)
- WEB設定のみ (Console, Telnet, SSH無効)
- OOBポート無効
- スタックポートは以下の範囲で最大4ポートまで
 - M4300-24X: ポート17～24
 - M4300-12X12F: ポート9～12、21～24
- スタック可能台数: 6台 (S3300仕様準拠)
- Smart Control Centerでの検出・設定に対応
- 前面パネルのReset ボタンでの設定初期化
 - 2～5秒長押し: 通常の再起動 (従来動作)
 - 5秒以上長押し: 設定初期化 & 再起動

S3300フル10Gスタック化 導入例



専用ファームウェア導入手順

1. 以下のファームウェアをダウンロードします。
 - M4300 ver.12.0.2.17以上 (通常ファームウェア)
 - M4300 ver.6.6.4.x (専用ファームウェア)
 - S3300 ver.6.6.4.x
2. M4300をver.12.0.2.17以上に更新します。
3. 再起動後にver.6.6.4.xに更新し、再起動します。
(12.0.2.17以上が適用されていない場合は更新不可)
4. 最大4つのスタックポートを設定し、再起動します。
 - M4300-24X: ポート17～24
 - M4300-12X12F: ポート9～12、21～24
5. S3300をver.6.6.4.xに更新し、再起動します。
6. スタックポートを設定し、再起動します。(初期設定時のみ)

以下、通常のスタックメンバー追加作業

通常ファームウェアへの復旧方法

1. 以下の通常ファームウェアをダウンロードします。
 - M4300 ver.12.0.2.x
2. スタックからM4300を取り外します。
3. M4300をver.12.0.2.xに更新し、再起動します。
4. コンソールポートが使用可能になったことを確認します。